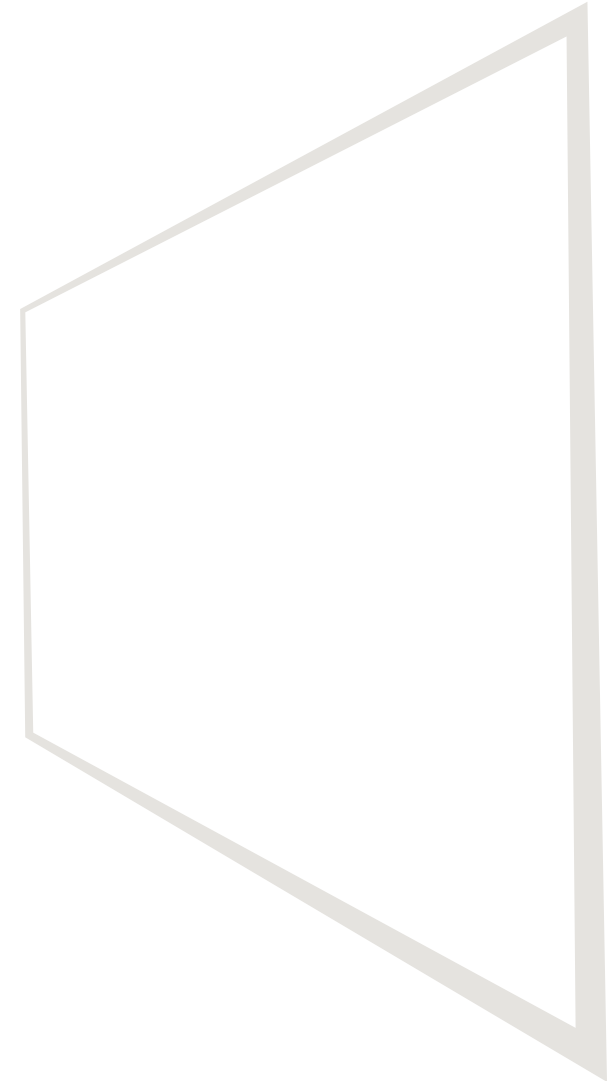


コニカミノルタ株式会社 2026年3月期（2025年度） 第3四半期決算説明会

2026年2月5日

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充



2025年度 3Q累計業績



KONICA MINOLTA



© KONICA MINOLTA

2025年度 3Q累計業績 | 全社サマリー

対前年3Q累計

- 売上高 : 減収（事業の選択と集中、為替、オフィス、ヘルスケアの減収、センシング、光学コンポの増収）
- 事業貢献利益 : 増益（事業ミックス改善による売上総利益率の改善、グローバル構造改革効果等による販管費率の改善、なお米国相互関税の影響は△30億円）
- 営業利益 : 増益（減損損失の剥落、構造改革費用の剥落、子会社株式売却損益など）
- 当期利益 : 増益（金融収支改善、税率改善、Tempus AI株式評価益）
- FCF : 増加（税前利益増加、Tempus AI株式の一部売却益、東京サイト日野の有形固定資産の取得による支出など）

【億円】

	FY24 3Q累計	FY25 3Q累計	前期比	為替影響を除く 前期比	FY24 3Q	FY25 3Q	前期比	為替影響を除く 前期比
売上高	8,318	7,811	△ 6%	△ 6%	2,740	2,680	△ 2%	△ 6%
売上総利益	3,643	3,467	△ 5%	△ 5%	1,208	1,185	△ 2%	△ 7%
（売上総利益率）	43.8%	44.4%	+0.6pt		44.1%	44.2%	+0.1pt	
販売管理費	3,355	3,119	△ 7%	△ 7%	1,083	1,076	△ 1%	△ 4%
（販売管理費率）	40.3%	39.9%	△ 0.4pt		39.5%	40.2%	+0.6pt	
事業貢献利益 ^{*1}	288	347	+20%	+19%	125	109	△ 13%	△ 30%
（事業貢献利益率）	3.5%	4.4%	+1.0pt		4.5%	4.1%	△ 0.5pt	
営業利益	△ 185	333	-	-	△ 174	103	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 ^{*2}	△ 134	214	-		△ 27	△ 12	-	
FCF ^{*3}	67	249	+272%		△ 100	130	-	
為替レート（円）								
USドル	152.57	148.74	△ 3.83		152.44	154.15	+1.71	
ユーロ	164.83	171.83	+7.00		162.59	179.39	+16.80	

*1 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

*2 *3 非継続事業分を含む

2025年度 3Q累計業績 | PL増減要因分析

	FY24 3Q累計	FY25 3Q累計	増減	主な増減要因
売上高	8,318	7,811	△507	事業の選択と集中 ^{*1} ：△350 為替：△17 など
売上総利益	3,643	3,467	△177	事業の選択と集中 ^{*1} ：△84 為替：+9 関税影響：△66 など
事業貢献利益	288	347	+59	販管費：△236（構造改革効果：△134 事業の選択と集中 ^{*1} ：△107 など）
営業利益	△185	333	+517	その他収益・費用：+459 （減損損失剥落：+284 構造改革費用剥落：+176 事業の選択と集中 ^{*1} ：+6 その他：+4）
継続事業からの当期利益	△357	209	+567	金融収益・費用：+60 法人所得税：△11
非継続事業からの当期利益	225	18	△206	プレジジョンメディシン事業からの収益・費用の剥落：△225 Tempus AI株式の評価益および株式の一部売却損など：+21
当期利益	△132	228	+360	
親会社の所有者に帰属する当期利益	△134	214	+348	
非支配持分当期利益	2	14	+12	
設備投資額	273	444 ^{*2}	+171	東京サイト日野の信託受益権取得：+189
減価償却費及び償却費 ^{*3}	403	298	△105	事業の選択と集中 ^{*1} ：△57
研究開発費	446	406	△40	

^{*1} DW-DX・マーケティングサービス・画像IoTソリューションユニットで行った事業譲渡。プレジジョンメディシン事業は非継続事業の為含まない

^{*2} 東京サイト日野の信託受益権取得にかかる費用（189億円）を含む

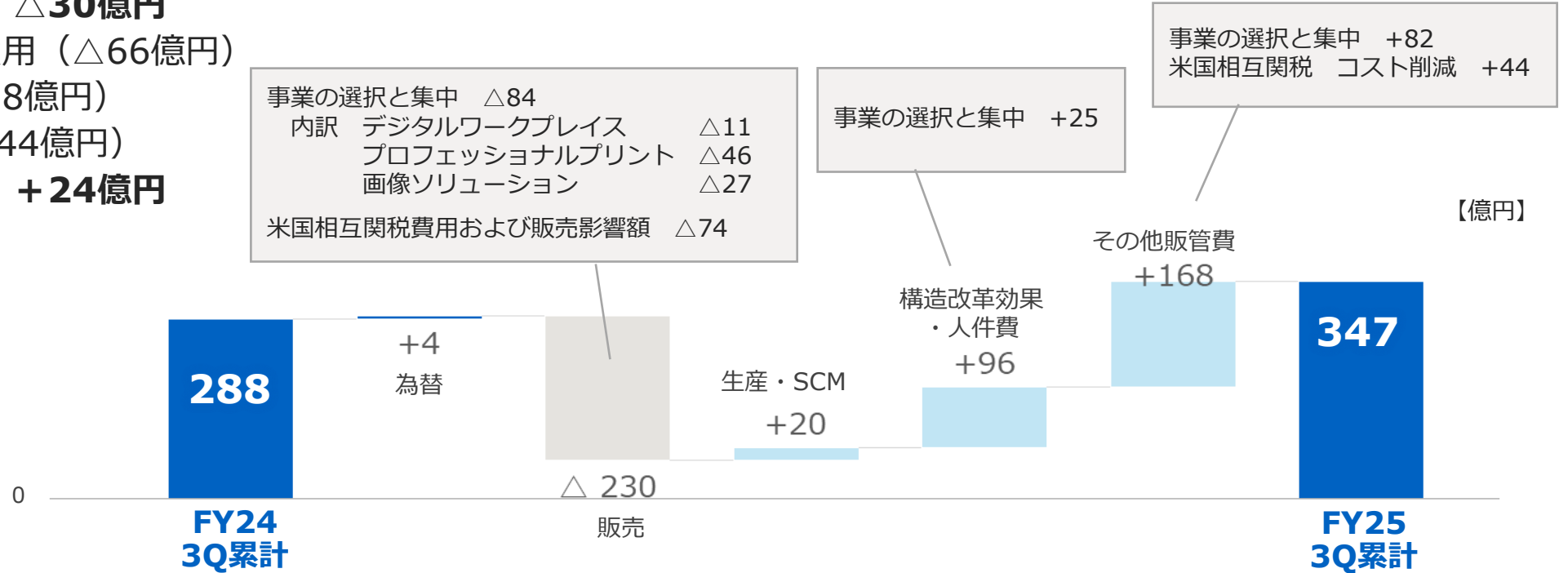
^{*3} IFRS16による使用権資産償却費を含まない

2025年度 3Q累計業績 | 事業貢献利益の増減要因

米国相互関税影響：△30億円

- 米国相互関税費用（△66億円）
- 販売影響額（△8億円）
- コスト削減（+44億円）

事業の選択と集中：+24億円



	FY24 3Q累計	為替	販売	生産・SCM	構造改革効果 ・人件費	その他販管費	FY25 3Q累計
デジタルワークプレイス事業	301	+17	△167	+15	+61	+40	267
プロフェッショナルプリント事業	107	△4	△59	+1	+14	+20	79
インダストリー事業	107	△6	+15	+5	+10	+19	150
画像ソリューション事業	△72	△1	△24	△1	+9	+60	△28
コーポレート他	△156	△2	+5	-	+2	+29 ^{*1}	△121
合計	288	+4	△230	+20	+96	+168	347

*1 不動産信託受益権の取得益（東京サイト日野）などによる事業貢献利益の改善 等

2025年度 3Q累計業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

【億円】

売上高	FY24 3Q累計	FY25 3Q累計	前期比	為替影響を除く 前期比	FY24 3Q	FY25 3Q	前期比	為替影響を除く 前期比
デジタルワークプレイス事業	4,585	4,391	△ 4%	△ 4%	1,509	1,513	+ 0%	△ 4%
プロフェッショナルプリント事業	2,076	1,852	△ 11%	△ 10%	685	614	△ 10%	△ 14%
インダストリー事業	892	909	+ 2%	+ 3%	287	318	+ 11%	+ 9%
画像ソリューション事業	761	653	△ 14%	△ 13%	256	232	△ 10%	△ 11%
コーポレート他	5	5	+ 4%	+ 74%	2	2	+ 30%	+ 30%
全社合計	8,318	7,811	△ 6%	△ 6%	2,740	2,680	△ 2%	△ 6%

事業貢献利益	FY24 3Q累計	率	FY25 3Q累計	率	前期比	為替影響を除く 前期比	FY24 3Q	率	FY25 3Q	率	前期比	為替影響を除く 前期比
デジタルワークプレイス事業	301	7%	267	6%	△ 11%	△ 17%	110	7%	85	6%	△ 23%	△ 37%
プロフェッショナルプリント事業	107	5%	79	4%	△ 26%	△ 23%	42	6%	30	5%	△ 28%	△ 43%
インダストリー事業	107	12%	150	16%	+ 40%	+ 45%	32	11%	54	17%	+ 69%	+ 68%
画像ソリューション事業	△ 72	-	△ 28	-	-	-	△ 22	-	△ 15	-	-	-
コーポレート他	△ 156	-	△ 121	-	-	-	△ 37	-	△ 46	-	-	-
全社合計	288	3%	347	4%	+ 20%	+ 19%	125	5%	109	4%	△ 13%	△ 30%

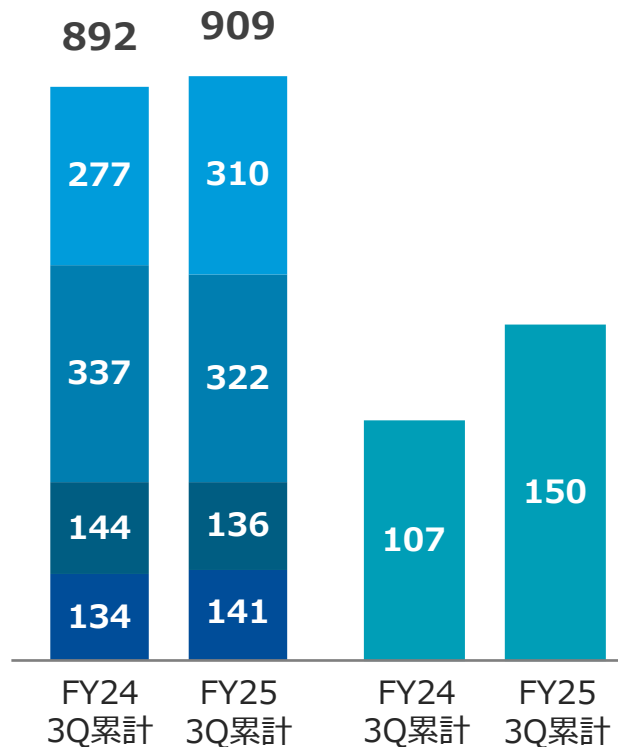
営業利益	FY24 3Q累計	率	FY25 3Q累計	率	前期比	為替影響を除く 前期比	FY24 3Q	率	FY25 3Q	率	前期比	為替影響を除く 前期比
デジタルワークプレイス事業	156	3%	256	6%	+ 65%	+ 54%	90	6%	79	5%	△ 12%	△ 29%
プロフェッショナルプリント事業	89	4%	63	3%	△ 29%	△ 25%	39	6%	35	6%	△ 12%	△ 28%
インダストリー事業	△ 177	-	150	17%	-	-	△ 249	-	54	17%	-	△ 121%
画像ソリューション事業	△ 75	-	△ 15	-	-	-	△ 16	-	△ 18	-	-	-
コーポレート他	△ 177	-	△ 122	-	-	-	△ 39	-	△ 47	-	-	-
全社合計	△ 185	-	333	4%	-	-	△ 174	-	103	4%	-	-

2025年度 3Q累計業績 | インダストリー

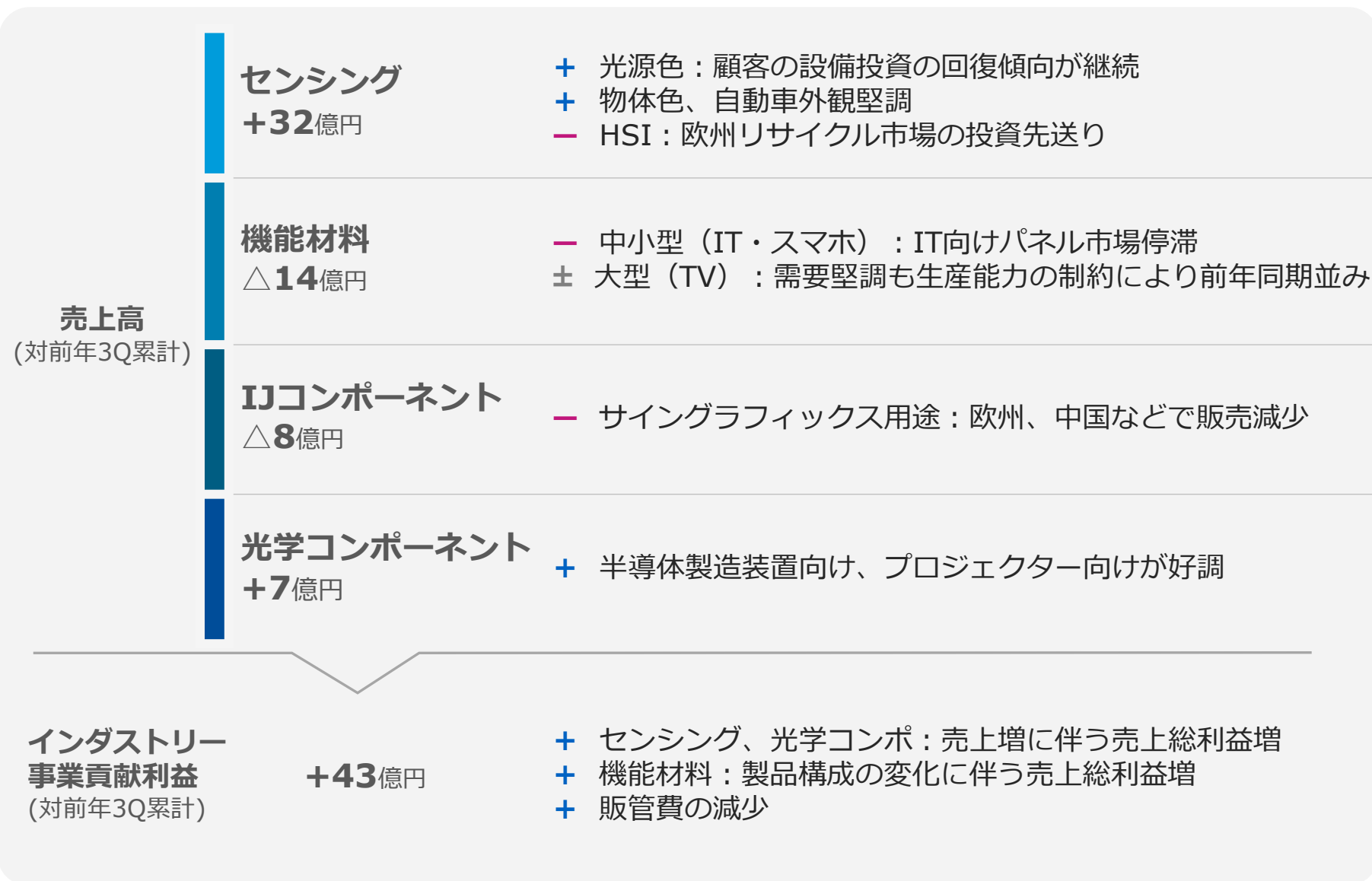
【億円】

売上高

事業貢献利益



- センシング
- 機能材料
- IJコンポーネント
- 光学コンポーネント

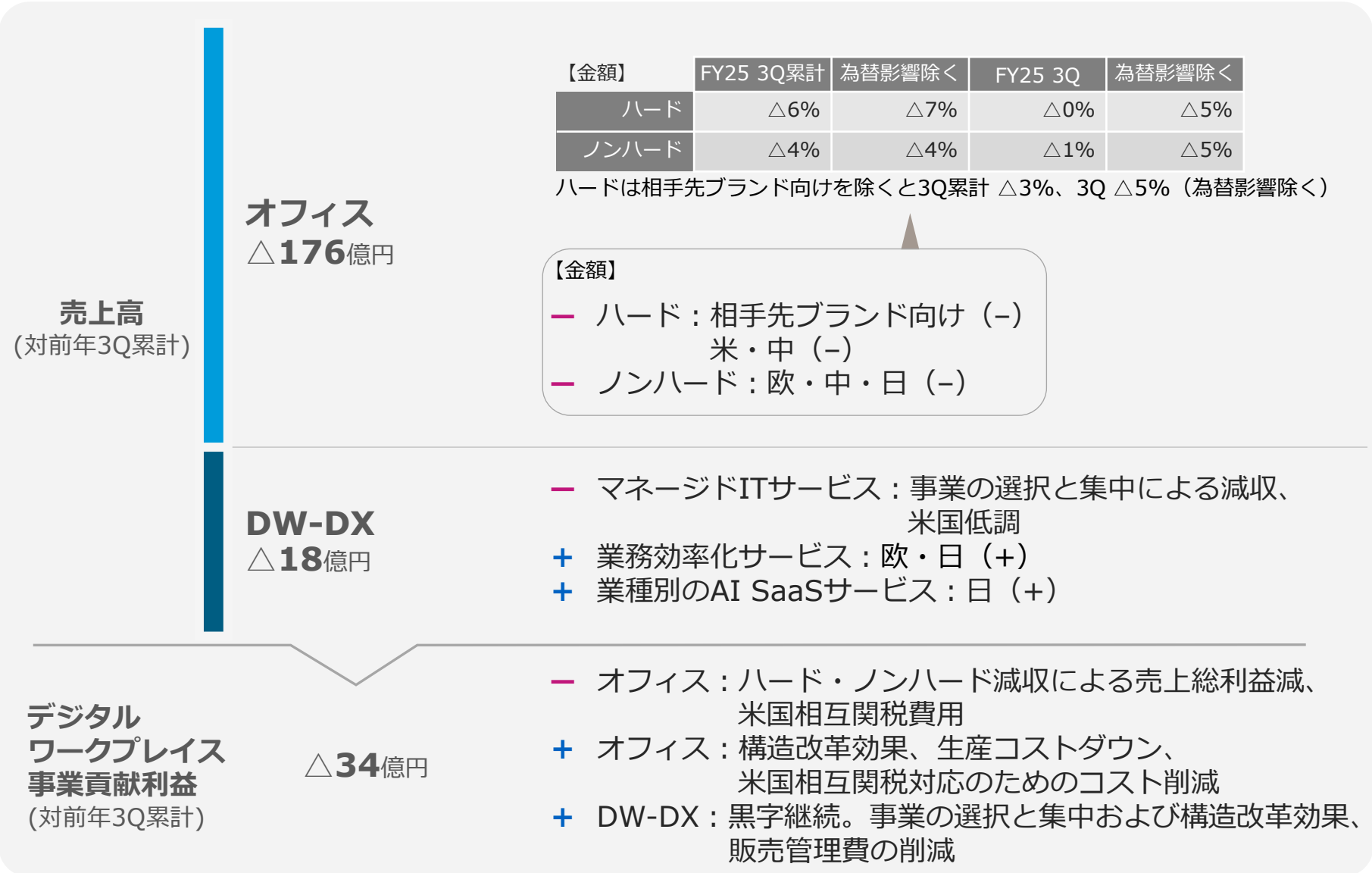
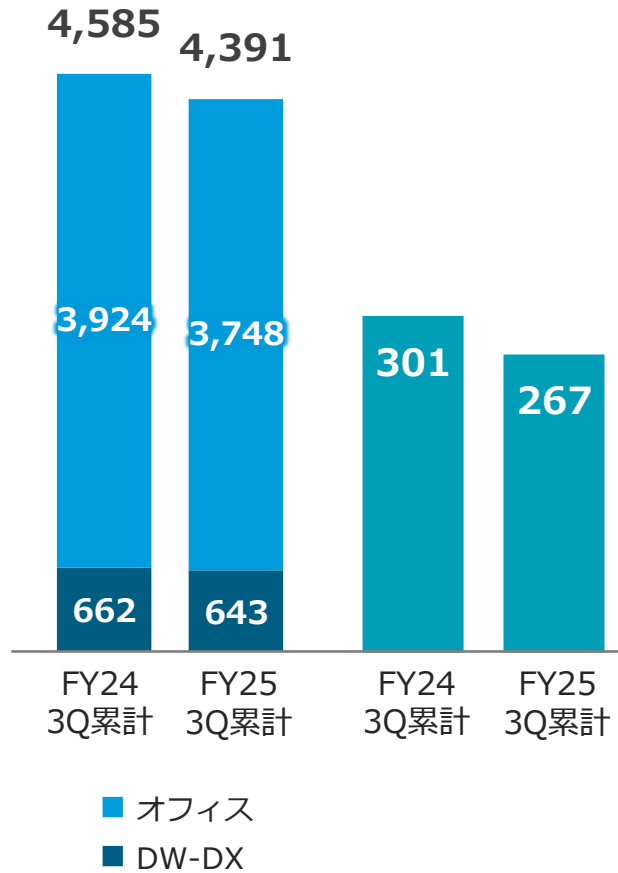


2025年度 3Q累計業績 | デジタルワークプレイス

【億円】

売上高

事業貢献利益

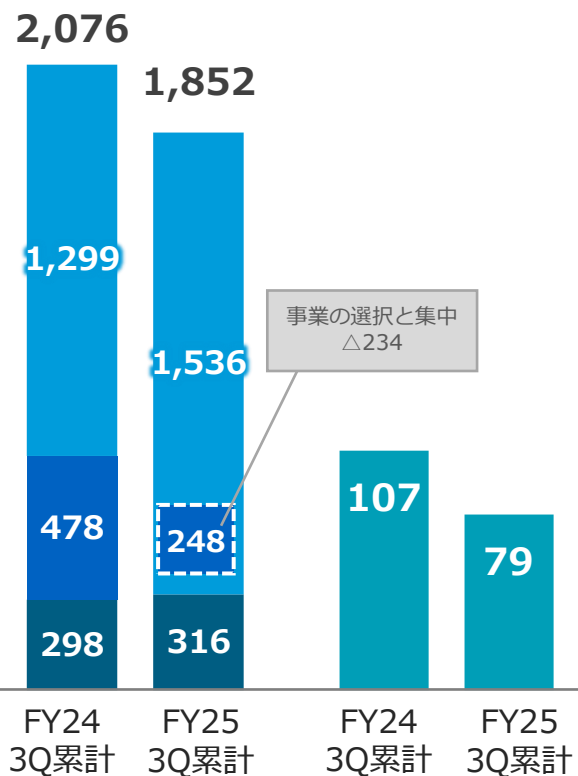


2025年度 3Q累計業績 | プロフェッショナルプリント

【億円】

売上高

事業貢献利益



- プロダクションプリント
- マーケティングサービス
- 産業印刷

プロダクション
プリント*1

△242億円

事業の選択と集中を除く
△8億円

売上高
(対前年3Q累計)

産業印刷

+18億円

プロフェッショナル
プリント

事業貢献利益

(対前年3Q累計)

△28億円

【金額】	FY25 3Q累計	為替影響除く	FY25 3Q	為替影響除く
ハード	△2%	△2%	+7%	+3%
ノンハード	△1%	△0%	+1%	△3%

【金額】

- － ハード：米・欧・中（－）、印（＋）
- － ノンハード：印（＋）、欧（±）、米・中（－）

【台数】	FY25 3Q累計	FY25 3Q
カラー機	△1%	△0%
	HPP△2%、MPP+28%	HPP+16%、MPP+18%

- － ハード：主に米国市況悪化による投資先送りによる販売減
- ＋ ノンハード：KM-1シリーズ・ラベルともに好調

- － 米国相互関税費用、売上総利益減少、産業印刷の開発費増
- ＋ 構造改革効果

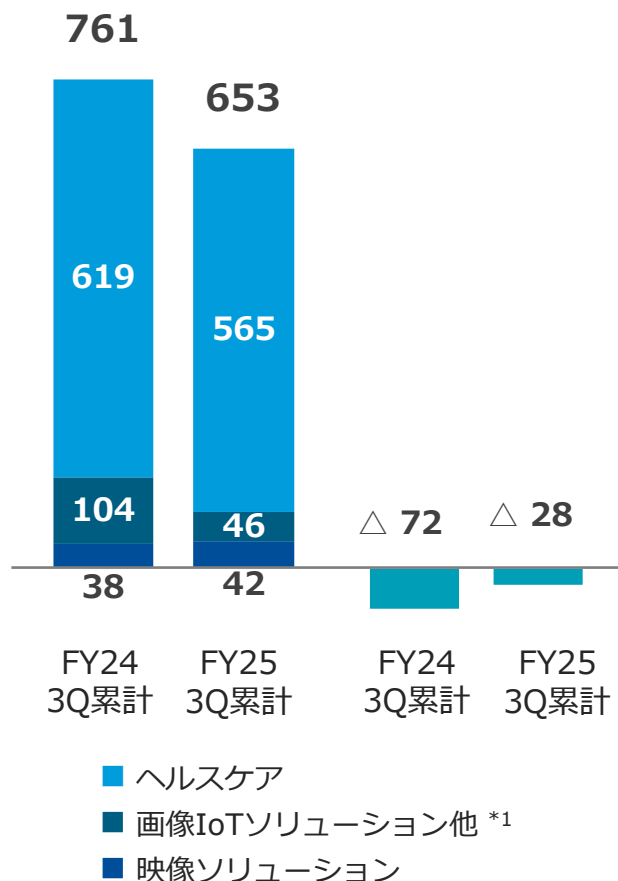
*1 当連結会計年度より、マーケティングサービスをプロダクションプリントに統合して表示

2025年度 3Q累計業績 | 画像ソリューション

【億円】

売上高

事業貢献利益



ヘルスケア

△54億円

- X線フィルム：中、仕入れ商材：日
- DR：日・欧（-）、アジア（+）
動態解析：米・中・アジア・印（+）
- 超音波：中・米（-）、日（+）
- + 医療IT：米

売上高
(対前年3Q累計)

画像IoT
ソリューション他*1

△58億円

- 画像IoTソリューション：事業の選択と集中
(Mobotix株式の譲渡△60)

映像ソリューション

+4億円

- + プラネタリウム直営館
- + 機器販売

画像ソリューション

事業貢献利益

(対前年3Q累計)

+44億円

- + ヘルスケア：販管費削減、減価償却費減少
- + 画像IoTソリューション：事業の選択と集中による赤字縮小
- + 映像ソリューション：安定した収益を確保

*1 FORXAIとQOLソリューションを含む

2025年度業績予想 Turn Around 2025



KONICA MINOLTA

2025年度 業績予想 | サマリー

3Q累計業績および為替動向を踏まえ、売上高の通期業績予想を修正

4Q単独の為替レートをドル145円→150円、ユーロ165円→172円に修正

	FY24 実績	FY25 前回見通し	FY25 予想	差異	【億円】	
売上高	11,279	10,500	10,750	+250		
事業貢献利益	319	540	540	-		
営業利益	△ 640	480	480	-		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 475	270	270	-		
配当 (円/1株)	0	10	10	-		
ROE (%)	-	5.2	5.2	-		
設備投資額	416	450	450	*1	-	
減価償却費及び償却費 *2 *3	528	500	410	△90		
研究開発費	596	580	570	△10		
FCF	757	350	350	-		
					為替感応度	
為替レート (円)			*4		売上高	営業利益
USドル	152.58	145.52	149.06	+3.54	+25	△ 1
ユーロ	163.75	166.53	171.87	+5.34	+16	+5

*1 東京サイト日野の信託受益権取得にかかる費用は含まず *2 非継続事業分を含む *3 IFRS16による使用权資産償却費を含まない

*4 為替レートは実績と予想の加重平均

2025年度 業績予想 | 売上高・事業貢献利益・営業利益

3Q累計業績を踏まえ、各セグメントの予想を修正

【億円】

売上高	FY24 実績	FY25 前回予想	FY25 今回予想	差異
デジタルワークプレイス事業	6,164	5,750	5,980	+230
プロフェッショナルプリント事業	2,847 *1	2,460	2,500	+40
インダストリー事業	1,193	1,290	1,290	-
画像ソリューション事業	1,069	1,000	980	△20
コーポレート他	7	0	0	-
全社合計	11,279	10,500	10,750	+250

事業貢献利益	FY24 実績	率	FY25 前回予想	率	FY25 今回予想	率	差異
デジタルワークプレイス事業	358	6%	390	7%	400	7%	+10
プロフェッショナルプリント事業	130	5%	130	5%	110	4%	△20
インダストリー事業	140	12%	210	16%	210	16%	-
画像ソリューション事業	△ 103	-	0	-	△ 10	-	△10
コーポレート他	△ 205	-	△ 190	-	△ 170	-	+20
全社合計	319	3%	540	5%	540	5%	-

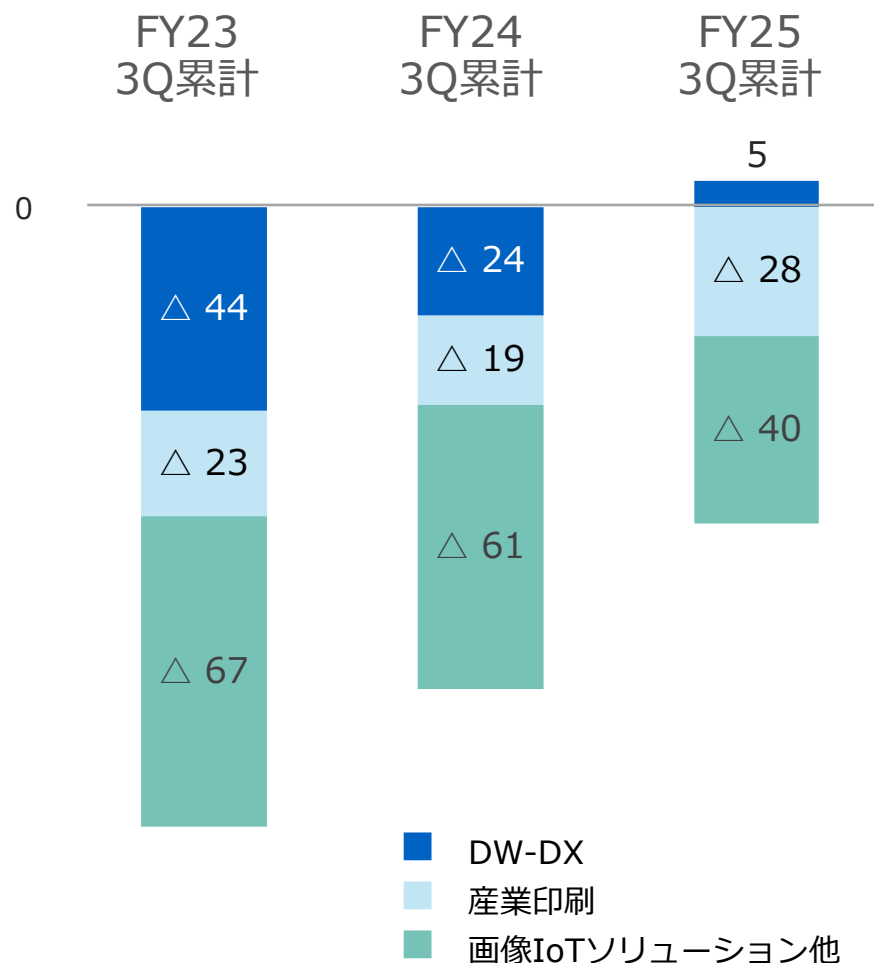
営業利益	FY24 実績	率	FY25 前回予想	率	FY25 今回予想	率	差異
デジタルワークプレイス事業	140	2%	390	7%	389	7%	△1
プロフェッショナルプリント事業	△ 132	-	130	5%	94	4%	△36
インダストリー事業	△ 127	-	210	16%	210	16%	-
画像ソリューション事業	△ 259	-	0	-	4	0%	+4
コーポレート他	△ 261	-	△ 250	-	△ 216	-	+34
全社合計	△ 640	-	480	5%	480	4%	-

*1 海外MPM事業 約413億円を含む

経営課題（これまで赤字であった事業の進捗状況）

事業貢献損失 推移

【億円】



DW-DX :

- 黒字化

産業印刷 :

- 米国中心に関税、景況の不透明感から顧客の投資抑制による影響を受け苦戦し、減益

画像IoTソリューション他*¹ :

- 全体として赤字幅は着実に縮小

*¹ FORXAIとQOLソリューションを含む

財務基盤の強化 | バランスシートの状況（2024年度末比）

【億円】

	25年3月	25年12月	差異	
現金及び現金同等物	899	1,035	+136	
営業債権及びその他の債権	2,896	2,897	+0	
棚卸資産	2,076	2,352	+276	情報機器を中心に増加
その他の金融資産	358	183	△ 175	Tempus AI株式の一部売却、評価益
その他の流動資産	385	425	+39	
売却目的で保有する資産	263	-	△ 263	海外MPM、Mobotixの事業譲渡など（当期残高0）
流動資産合計	6,878	6,891	+13	
有形固定資産	2,656	2,541	△ 115	東京サイト日野の信託受益権取得による変動
のれん及び無形資産	1,713	1,811	+97	
その他の非流動資産	929	982	+54	
非流動資産合計	5,298	5,334	+35	
資産合計	12,176	12,225	+48	為替影響: +621、実質: △572

	25年3月	25年12月	差異	
営業債務及びその他の債務	1,707	1,675	△ 32	
社債及び借入金	3,433	3,436	+3	
リース負債	949	692	△ 257	東京サイト日野の信託受益権取得による変動
引当金	344	169	△ 175	事業の選択と集中に係る引当金 等
売却目的保有負債 ^{*1}	158	-	△ 158	海外MPM、Mobotixの事業譲渡など（当期残高0）
その他の負債	845	934	+89	
負債合計	7,436	6,906	△ 529	
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,632	5,197	+565	
非支配持分	109	122	+13	
資本合計	4,741	5,318	+578	
負債及び資本合計	12,176	12,225	+48	

【円】	2025年 3月末	2025年 12月末
米ドル	149.52	156.56
ユーロ	162.08	184.33
人民元	20.59	22.36

^{*1} 売却目的で保有する資産に直接関連する負債

財務基盤の強化 | フリー・キャッシュ・フロー

【億円】

	FY24 3Q累計	FY25 3Q累計	詳細
税引前利益（△は損失）	△ 285	292	営業利益段階までの改善、金融収支の改善
減価償却費及び償却費 ^{*1}	567	439	
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	186	249	
棚卸資産の増減（△は増加）	△ 214	△ 118	情報機器事業を中心に増加
棚卸資産回転月数	4.83	4.72	
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△ 27	△ 157	
その他	68	△ 248	
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	457	
有形固定資産の取得による支出	△ 198	△ 379	有形固定資産の取得による支出（東京サイト日野の信託受益権取得含む）
無形資産の取得による支出	△ 113	△ 92	
子会社の売却による収入	93	57	Konica Minolta Optical Products (Shanghai) Co., Ltd.の持分譲渡 等
子会社の売却による支出	-	△ 12	
投資有価証券の売却による収入	0	210	Tempus AI株式の一部売却 等
その他	△ 10	8	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 228	△ 207	
フリー・キャッシュ・フロー	67	249	

^{*1} IFRS16による使用权資産償却費を含む

今後のIRイベント予定

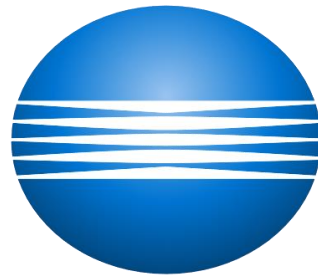
- 2026年3月18日 半導体製造装置向け光学コンポーネント説明会
- 2026年4月23日 中期経営計画説明会
- 2026年5月14日 2026年3月期決算説明会

開催済みのIRイベント

- 2025年10月8日 成長の芽 説明会「インテリジェント再生材」
- 2025年11月25日 成長の芽 説明会「ペロブスカイト太陽電池バリアフィルム」
- 2026年1月20日 サステナビリティ説明会

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください

https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/event/other_event/index.html

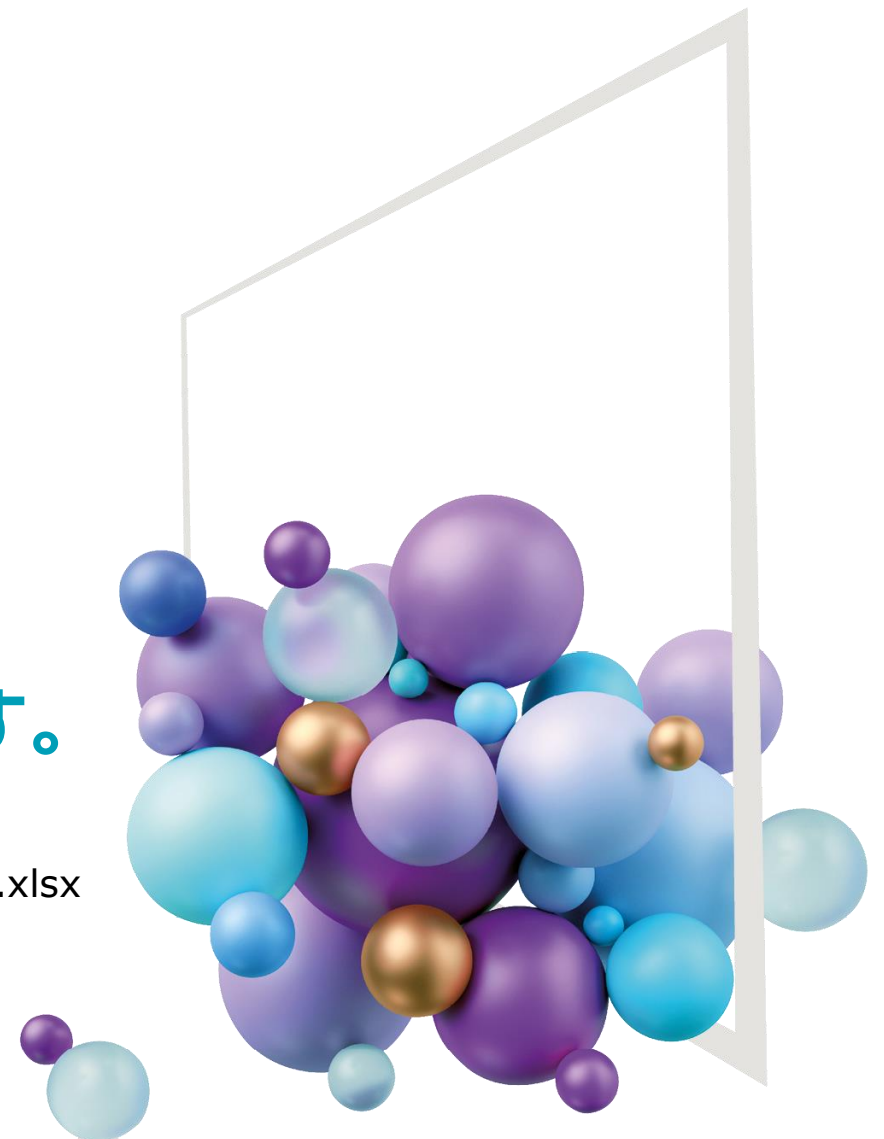


KONICA MINOLTA

APPENDIX

開示しておりました一部資料は
ウェブ上の開示に変更しました。
以下よりダウンロードしてご確認ください。

https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2026/2026_3q_presentation_supplementary.xlsx



【億円】

	FY24 3Q累計	FY25 3Q累計	前期比	FY24 3Q	FY25 3Q	前期比
売上高	8,318	7,811	△6%	2,740	2,680	△2%
売上総利益	3,643	3,467	△5%	1,208	1,185	△2%
（売上総利益率）	43.8%	44.4%	+0.6pt	44.1%	44.2%	+0.1pt
販売管理費	3,355	3,119	△7%	1,083	1,076	△1%
事業貢献利益	288	347	+20%	125	109	△13%
（事業貢献利益率）	3.5%	4.4%	+1.0pt	4.5%	4.1%	△ 0.5pt
その他収益・費用	△ 473	△ 14	-	△ 299	△ 6	-
営業利益	△ 185	333	-	△ 174	103	-
（営業利益率）	-	4.3%	-	-	3.8%	-
金融収支	△ 101	△ 41	-	△ 9	△ 11	-
税引前利益	△ 285	292	-	△ 183	92	-
（税引前利益率）	-	3.7%	-	-	3.4%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 134	214	-	△ 27	△ 12	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	2.7%	-	-	-	-
EPS（円）	△ 27.09	43.38		△ 5.43	△ 2.39	
設備投資額	273	444 ^{*1}		100	82	
減価償却費及び償却費 ^{*2}	403	298		141	102	
研究開発費	446	406		147	138	
FCF	67	249		△ 100	130	
投融資	4	-		4	-	

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24期初に遡及して売上高から税引前利益、研究開発費の実績から除外しています。

^{*1} 東京サイト日野の信託受益権取得にかかる費用（189億円）を含む

^{*2} IFRS16による使用権資産償却費を含まない

その他の収益・費用及び金融収支 詳細

【億円】

	FY24 3Q累計	FY25 3Q累計	差異	FY24 3Q	FY25 3Q	差異
事業貢献利益	288	347	+59	125	109	△16
その他の収益						
子会社株式売却益	-	23	+23	-	-	-
その他	42	44	+2	16	18	+2
その他の収益 計	42	67	+25	16	18	+2
その他の費用						
子会社株式売却損	-	17	+17	-	△5	△5
サブリース損失	-	12	+12	-	12	+12
事業構造改善費用	176	7	△169	12	2	△10
減損損失	291	7	△284	282	3	△279
有形固定資産及び無形資産除売却損	21	7	△15	11	2	△9
その他	26	31	+5	9	8	△1
その他の費用 計	515	81	△433	315	23	△292
営業利益	△185	333	+517	△174	103	+277
金融収益						
受取利息及び受取配当金	23	24	+0	9	8	△0
為替差益	-	6	+6	13	7	△7
その他	1	11	+10	0	0	△0
金融収益 計	25	41	+16	22	15	△7
金融費用						
支払利息	69	63	△6	23	21	△3
リース利息	21	17	△4	7	6	△2
為替差損	33	-	△33	-	-	-
その他	3	2	△1	1	1	△0
金融費用 計	125	82	△43	31	27	△5
税引前利益	△ 285	292	+577	△ 183	92	+275
法人所得税費用	72	83	+11	59	33	△26
継続事業からの利益	△ 357	209	+567	△ 242	59	+301
非継続事業からの利益	225	18	△206	217	△ 65	△282
当期利益	△ 132	228	+360	△ 25	△ 6	+19
親会社の所有者に帰属する利益	△ 134	214	+348	△ 27	△ 12	+15
非支配持分に帰属する利益	2	14	+12	2	5	+4

セグメント別四半期推移



KONICA MINOLTA

【億円】

【売上高】	FY24						FY25			
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計
デジタルワークプレイス事業	1,520	1,556	1,509	4,585	1,578	6,164	1,389	1,488	1,513	4,391
オフィス	1,290	1,334	1,299	3,924	1,350	5,274	1,185	1,264	1,299	3,748
DW-DX	230	222	210	662	228	890	205	225	214	643
プロフェッショナルプリント事業	676	714	685	2,076	771	2,847	643	596	614	1,852
プロダクションプリント	422	441	436	1,299	463	1,763	542	495	499	1,536
産業印刷	84	119	96	298	145	443	101	101	115	316
マーケティングサービス ^{*1}	171	155	153	478	163	641	-	-	-	-
インダストリー事業	310	295	287	892	301	1,193	287	304	318	909
センシング	88	93	96	277	103	381	92	102	116	310
機能材料	131	107	98	337	95	432	111	110	101	322
IJコンポーネント	53	47	44	144	56	200	42	46	49	136
光学コンポーネント	37	48	49	134	46	180	42	46	52	141
画像ソリューション事業	228	276	256	761	309	1,069	191	230	232	653
ヘルスケア	188	226	206	619	245	864	169	197	199	565
画像IoTソリューション他 ^{*2}	31	36	36	104	42	146	13	16	17	46
映像ソリューション	9	14	14	38	22	60	10	17	16	42
コーポレート他	2	1	2	5	2	7	1	2	2	5
プレジジョンメディシン事業	126	133	-	-	-	-	-	-	-	-
全社合計	2,862	2,975	2,740	8,318	2,960	11,279	2,512	2,620	2,680	7,811

*プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24 3Q以降は実績から除外、通期もFY24期初に遡及して除外しています。（水色が該当箇所）

*1 FY25より、マーケティングサービスユニットを、プロダクションプリントユニットに統合

*2 「QOLソリューション」「FORXAI」の売上高込み

セグメント別四半期推移

【億円】

【事業貢献利益】	FY24						FY25			
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計
デジタルワークプレイス事業	68	123	110	301	57	358	74	108	85	267
プロフェッショナルプリント事業	18	48	42	107	22	130	14	35	30	79
インダストリー事業 ^{*1}	38	38	32	107	33	140	43	53	54	150
画像ソリューション事業 ^{*2}	△ 40	△ 9	△ 22	△ 72	△ 31	△ 103	△ 14	0	△ 15	△ 28
コーポレート他 ^{*3}	△ 65	△ 53	△ 37	△ 156	△ 50	△ 205	△ 25	△ 50	△ 46	△ 121
プレジジョンメディシン事業	△ 2	16	-	-	-	-	-	-	-	-
全社合計	16	162	125	288	31	319	92	147	109	347

【営業利益】	FY24						FY25			
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計
デジタルワークプレイス事業	45	21	90	156	△ 16	140	71	106	79	256
プロフェッショナルプリント事業	17	33	39	89	△ 221	△ 132	4	23	35	63
インダストリー事業 ^{*1}	31	41	△ 249	△ 177	49	△ 127	43	53	54	150
画像ソリューション事業 ^{*2}	△ 43	△ 17	△ 16	△ 75	△ 185	△ 259	6	△ 3	△ 18	△ 15
コーポレート他 ^{*3}	△ 68	△ 70	△ 39	△ 177	△ 84	△ 261	△ 24	△ 51	△ 47	△ 122
プレジジョンメディシン事業	14	△ 12	-	-	-	-	-	-	-	-
全社合計	△ 4	△ 3	△ 174	△ 185	△ 456	△ 640	101	129	103	333

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24 3Q以降は実績から除外、通期もFY24期初に遡及して除外しています。（水色が該当箇所）

^{*1} インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター

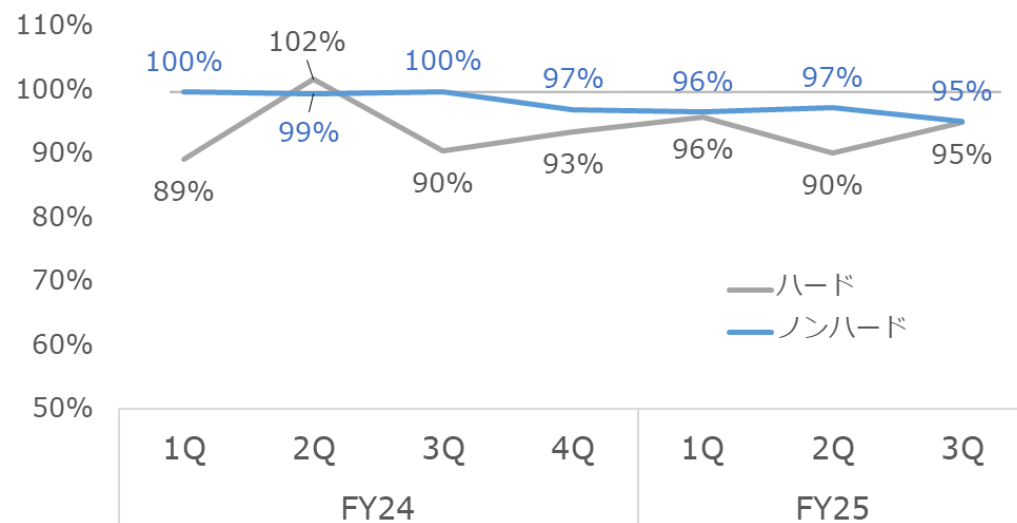
^{*2} 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、映像ソリューション

^{*3} コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

2025年度 3Q業績 | ハード・ノンハード売上 対前期

為替影響を除く

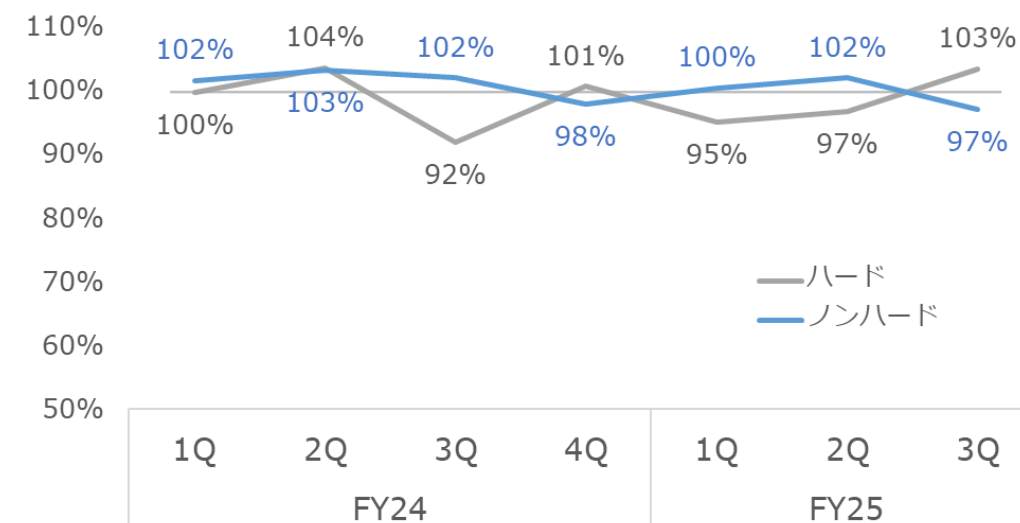
オフィス



ノンハード地域別

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	98%	96%	96%	96%	97%	98%	97%
米国	100%	97%	96%	95%	99%	103%	96%
欧州	96%	101%	99%	94%	96%	91%	93%
中国	107%	85%	122%	88%	95%	92%	91%
インド	108%	119%	116%	113%	100%	104%	96%
合計	100%	99%	100%	97%	96%	97%	95%

プロダクションプリント



ノンハード地域別

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	99%	97%	95%	98%	98%	101%	99%
米国	101%	102%	98%	94%	93%	103%	88%
欧州	97%	104%	99%	97%	100%	98%	101%
中国	104%	88%	118%	95%	97%	100%	87%
インド	104%	110%	110%	106%	112%	111%	105%
合計	102%	103%	102%	98%	100%	102%	97%

主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】
【影響額、感応度：億円】

	FY24	FY25	対前年影響額		為替感応度 ^{*2}	
	3Q累計	3Q累計	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	152.57	148.74	△ 70	+6	+25	△ 1
ユーロ	164.83	171.83	+79	+26	+15	+4
ポンド	195.43	198.95	+2	△ 0	+2	+0
欧州通貨 ^{*1}	-	-	+94	+26	+21	+7
人民元	21.15	20.78	△ 8	△ 5	+25	+8
その他	-	-	△ 33	△ 18	-	-
予約影響額	-	-	-	△ 3	-	-
合計	-	-	△ 17	+5	-	-

*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2 為替感応度：過去1年間の1円変動時の影響額（参考）

組織変更に伴う開示セグメントの変更

FY24

情報機器事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス ■ DW-DX
	プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント ■ 産業印刷 ■ マーケティングサービス
インダストリー事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ センシング ■ 機能材料 ■ IJコンポーネント ■ 光学コンポーネント
画像ソリューション事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア ■ 画像IoTソリューション他 (含むQOLソリューション、FORXAI) ■ 映像ソリューション
コーポレート他（技術開発本部、他CO）		

非継続事業

プレジジョンメディシン事業

FY25 1Q以降

情報機器事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス ■ DW-DX
	プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント (含むマーケティングサービス) ■ 産業印刷
インダストリー事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ センシング ■ 機能材料 ■ IJコンポーネント ■ 光学コンポーネント
画像ソリューション事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア ■ 画像IoTソリューション他 (含むQOLソリューション、FORXAI) ■ 映像ソリューション
コーポレート他（技術開発本部、他CO）		

非継続事業

プレジジョンメディシン事業

- 事業貢献利益：
売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標
- HSI：センシングユニット
ハイパースペクトルイメージング。広範囲の波長を多数に分割して撮像する方法。当技術を用いることで、人の目やRGBカメラでは判別が不可能なプラスチックの種類の分別が可能となる。
- SANUQI：機能材料ユニット
ディスプレイ用の電子デバイスの構成部材として使用される、新樹脂フィルムの商標。
- SAZMA
ディスプレイ用の電子デバイスの構成部材として使用される、アクリル素材の新フィルムの商標。従来品にはない表面加工のしやすさと光学等方性が特長のフィルム
- カラープロダクションプリント機セグメント：プロダクションプリントユニット
ELPP (Entry Light Production Print) 月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品
LPP (Light Production Print) 月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品
MPP (Mid Production Print) 月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品
HPP (Heavy Production Print) 月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品
- MPM：マーケティングサービスユニット
Marketing Print Management。大手グローバル企業のマーケティング部門を対象として、顧客の販促用印刷物の投資対効果を最適化するサービス
- 業務効率化サービス：DW-DXユニット
ビジネスコンテンツの管理や業務プロセス管理を提供するサービス
- AI SaaSサービス：DW-DXユニット
AIを用いた通訳、ナレッジマネジメント、学習支援などの自社開発サービス
- マネージドITサービス：DW-DXユニット
企業のIT部門の業務全般を支援・サポートするサービス。PC/ Server、OS、ソフトウェア、ネットワークなどの導入計画立案、導入、運用代行・支援、管理、保守、回収代行などのライフサイクルをサポートするサービス
- FORXAI：画像IoTソリューション他ユニット
AI技術を中心とした全社共通技術基盤を展開するユニット
- QOLソリューション：画像IoTソリューション他ユニット
介護施設向けモニタリングソリューションを展開するユニット



KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来予想に係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。